

外来における循環器疾患の患者に対する看護実践に関する研究

看護学科（成人看護学）

星 有紀

●連絡先 TEL：054-202-2943
E-Mail：yhoshi@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

外来看護, 外来患者, 看護実践

外来看護に関する問題や課題について研究を行っています。

医療技術の進歩により、入院期間は減少し続けています。さらに、以前は入院を要した高度な医療も外来で行えるようになりました。特に、循環器疾患における心臓カテーテル治療をはじめとした低侵襲治療の進歩は著しく、日帰りでの治療を可能にしました。入院して行われていたケアが外来に移行したことにより、患者さんは自分自身で症状を管理する必要があります。患者さんにとって自己管理をするということは容易ではありません。

今後ますます、外来が担う機能はさらに多様化・高度化が進み、患者さんへの継続的なサポートの提供が求められます。外来機能の拡大により、外来看護師に求められる役割は多岐に渡り、看護が担う役割が重要視されている現在、問題や課題について一つずつ丁寧に検討し、外来看護に貢献できる取り組みを続けていきたいと考えています。

アピールポイント

外来での看護師経験を経て、外来看護に関する研究を行っています。